

長 岡 市  
まちなか図書館  
施設更新計画

平成 30 年 3 月

長岡市



## 1 本計画の位置づけ等

### (1) 位置づけ

本市の人口は、平成7年をピークに減少し、少子高齢化の進行により、施設の需要も変化している。また、公共施設等の老朽化に伴う維持・更新費用の増加が見込まれていることから、市が保有する公共施設等を今後30年間の長期にわたり計画的に管理するため、平成29年3月に「長岡市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定した。

総合管理計画では、市が保有する公共施設等の現状や将来の見通しを整理したうえで、今後の公共施設等の更新に係る基本的な考え方を示しつつ、各施設の具体的な管理については個別施設計画の中で定めていくこととしたものである。

そのような中で、長岡市立互尊文庫（以下「互尊文庫」という。）は、まちなかに立地する唯一の図書館として重要な位置付けであるものの、施設の整備から50年が経過し、施設の老朽化が顕著であり、どのように施設を更新するかが大きな課題となっている。

また、長岡市青少年文化センター（以下「青少年文化センター」という。）は、健全な心身の育成を図ることを目的として、様々な学びの機会を提供している一方、施設の老朽化とともに、少子高齢化や生活環境などの社会的変化に伴い施設の利用形態も変わってきているため、市民のニーズを的確に見極めながら、施設の統廃合や複合化も含めた検討が必要である。

こうしたことから、対象となる施設について、総合管理計画に定められた市の公共施設に関するマネジメント方針に基づいて整理するため、本計画を策定するものである。

### (2) 計画期間

平成30年度から平成36年度（7年間）

## 2 対象施設

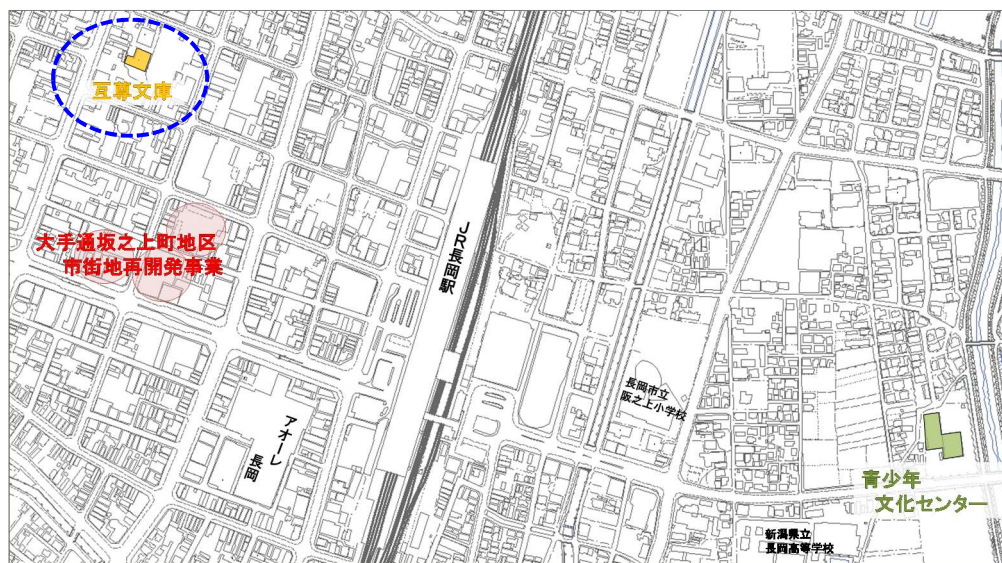
### (1) 互尊文庫

#### <施設概要>

互尊文庫は、長岡駅から徒歩10分のまちなかに立地し、大正7年に長岡市で最初の公立図書館として開館した歴史ある図書館である。「互尊文庫」の名は、創設者・野本恭八郎（野本互尊翁）の唱えた互尊独尊思想にちなみ名づけられたもので、戦災で一度は建物・所蔵資料を失ってしまったが、内藤伝吉の寄付などにより再建され、現在の建物は昭和42年に建てられた。1階には一般書・児童書コーナー、2階には新聞・雑誌コーナー、閲覧室、長岡地域の貴重な古文書や行政文書などを公開している文書資料室、3階には広い学習室があり、学び・憩いの場として親しまれている。

総合管理計画上の類型	図書館
所在地	坂之上町3丁目1-20
建築年（築年数）	昭和42年（築50年）
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階（一部4階） 敷地面積 1,074.94 m <sup>2</sup> 延床面積 1,600.75 m <sup>2</sup>
主な機能	1F 一般貸出開架室、児童コーナー 2F 軽読書室、新聞雑誌コーナー、文書資料室 3F 学習室、郷土史交流室

#### <位置図>





<外観写真>



<館内写真>

児童コーナー



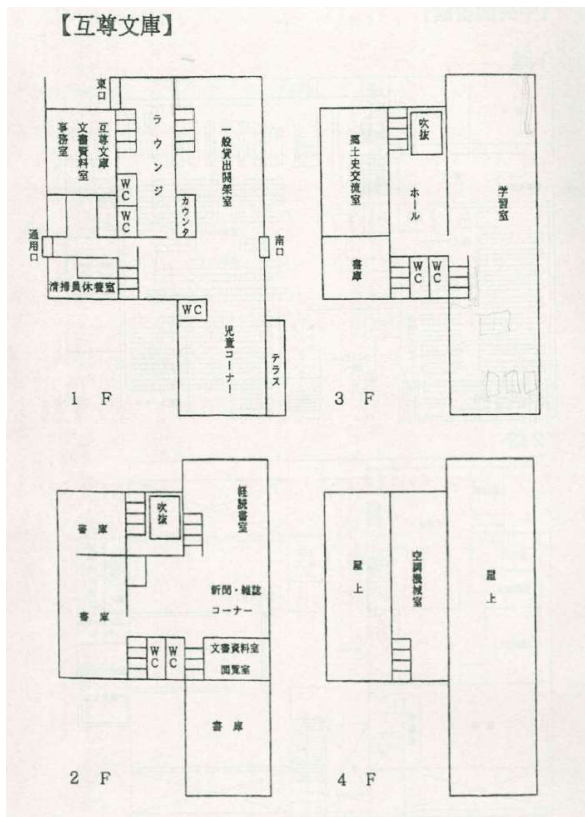
2階閲覧室



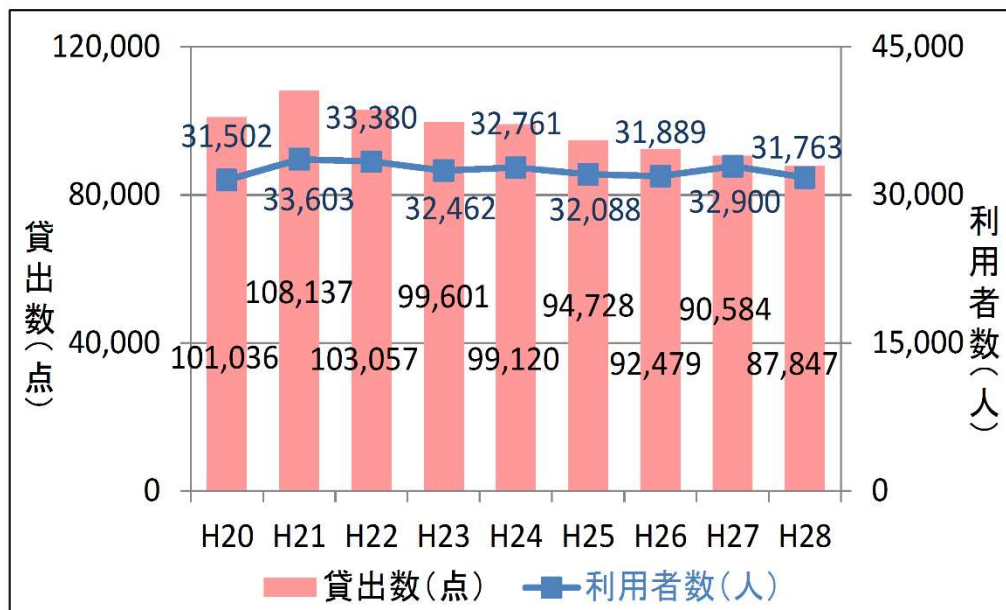
3階学習室



<館内図>



<利用状況>



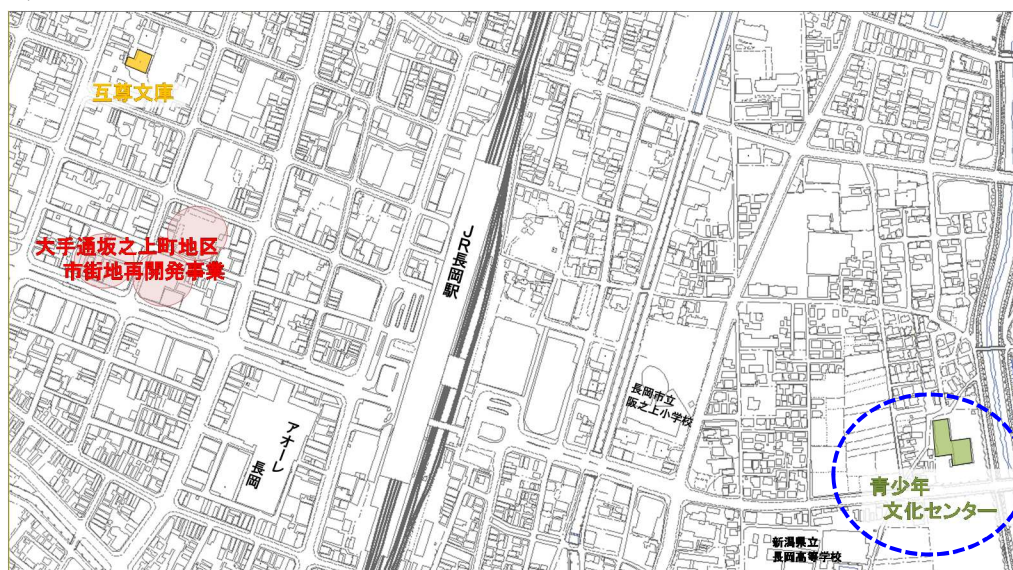
## (2) 青少年文化センター

### <施設概要>

青少年文化センターは、青少年の健全な育成を目的に、昭和44年に県が建設し、昭和59年に市へ譲渡された、建築後48年が経過している建物である。プラネタリウム・科学コーナー・温水プール（H22年度末で廃止）を完備し、昭和47年には昭和天皇も来訪したことがある。小学生や幼児の親子連れから多く利用されており、楽しい教室（書道、図工、将棋、焼物、ロボコン入門、理科実験、子ども絵手紙、はじめてのそろばん）や星空シアター、科学教室、工作教室など、様々な学び事業が実施されている。

総合管理計画上の類型	博物館等
所在地	今朝白1丁目1-1
建築年（築年数）	昭和44年（築48年）
構造	敷地面積 5,436.18㎡ （展示館） 鉄筋コンクリート造3階建 延床面積1,756㎡ （温水プール）鉄骨造平屋建一部鉄筋コンクリート造2階建 延床面積830.65㎡
主な機能	1F 科学コーナー 2F 多目的ホール、科学実験室、クラブ活動室、和室、陶芸室、集会室 3F プラネタリウム室、パソコン室

### <位置図>





<外観写真>



<館内写真>



科学コーナー



多目的ホール



科学実験室



陶芸室

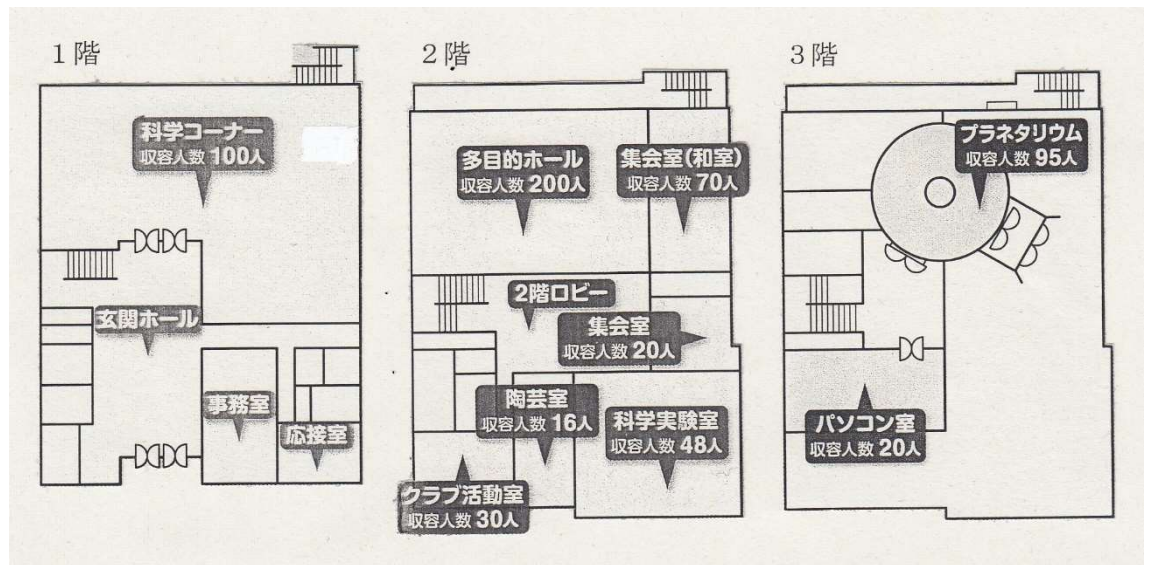


図書コーナー

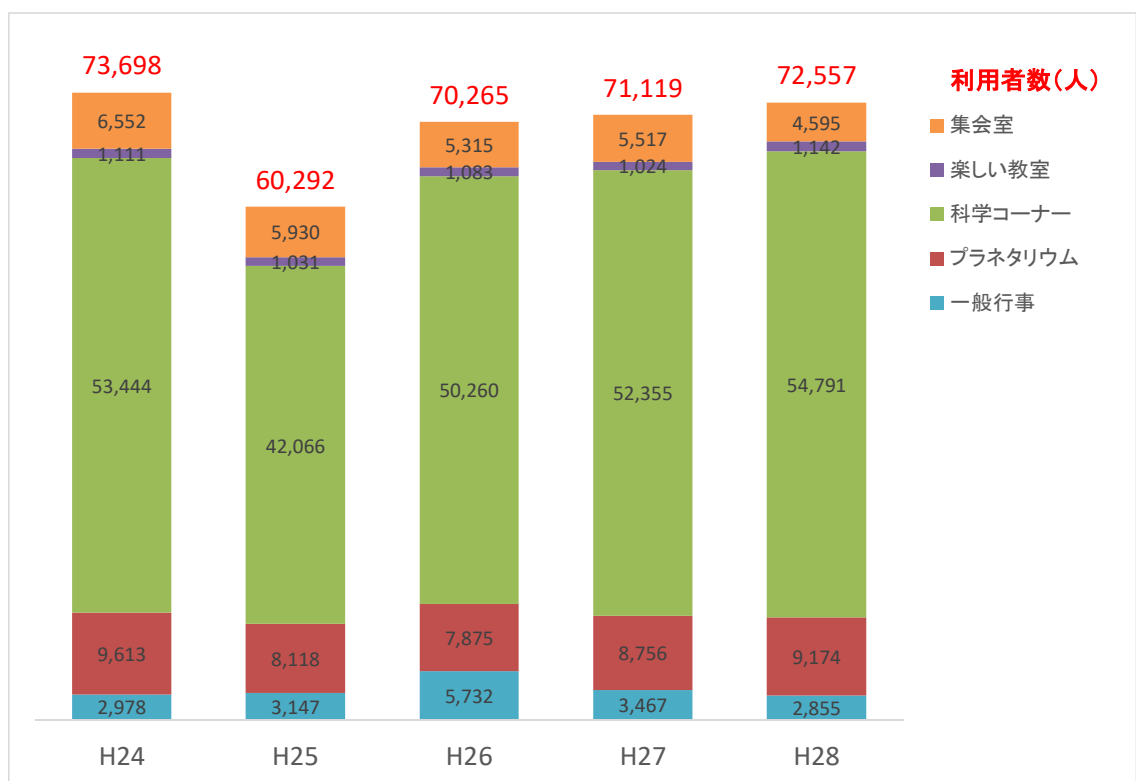


プラネタリウム室

<館内図>



<利用状況>



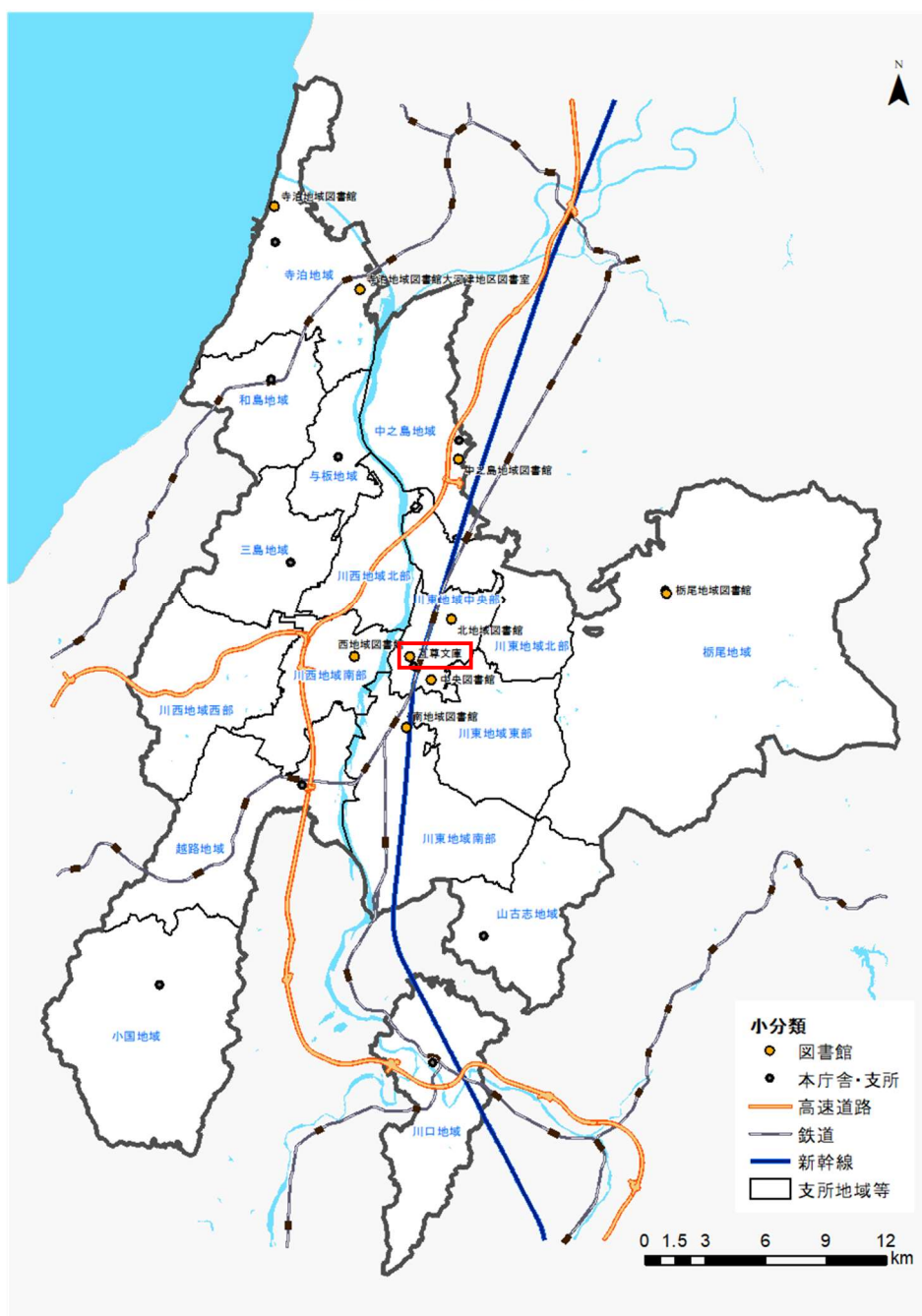
### 3 対策の優先順位の考え方

総合管理計画における個別施設のマネジメント方針に従い、対象施設に対する対策の優先順位について検討を行った。

#### (1) 互尊文庫

#### 長岡市公共施設等総合管理計画 5. 施設類型別のマネジメント方針 (P98)

##### 施設の立地 (図書館)



## 5-7-1 図書館

### (1) 現状

地域区分	施設名称	備考	平均: 1,062 25 45,400		
			延床面積	建物状況 経過年数	利用状況 利用者数
長岡	中央図書館	複合	4,490	29	179,701
	互尊文庫		1,601	49	32,088
	北地域図書館		820	16	51,925
	南地域図書館		809	18	46,071
	西地域図書館		781	21	64,676
中之島	中之島地域図書館	複合	369	21	12,363
寺泊	寺泊地域図書館	複合	178	21	5,713
	寺泊地域図書館大河津地区図書室	複合	57	19	1,424
栃尾	栃尾地域図書館	複合	450	33	14,638

### (2) 今後の方向性

原則として、今後も機能を維持します。また、建替時に複合化・多機能化の可能性を検討します。

本計画期間中の建築後経過年数は、次の表のとおりです。築 50 年目を目途に構造躯体の健全性評価を行い、建物性能が低いと評された場合は建替・複合化を検討します。

計画期間中に建築後 80 年を超える施設 (現在建築後 50 年以上の施設)	なし
計画期間中に建築後 50 年を超える施設 (現在建築後 20 年以上の施設)	中央図書館、 <u>互尊文庫</u> 、西地域図書館、中之島地域図書館、寺泊地域図書館、栃尾地域図書館

#### ○ 対策及び優先順位

互尊文庫は、昭和 42 年に建築され築 50 年を経過しており、平成 23 年度に実施した耐震診断の結果、耐震工事が必要であり、また、平成 28 年度に実施した建物診断の結果、構造躯体以外においても劣化が見られるため、総合的に判断し、建替による複合化を優先して検討を進める。



(2) 青少年文化センター

長岡市公共施設等総合管理計画 5. 施設類型別のマネジメント方針 (P99)

施設の立地 (その他の文化施設)





## 5-7-3 博物館等

### (1) 現状

地域区分	施設名称	備考	平均: 789 43 14,439		
			延床面積	建物状況 経過年数	利用状況 利用者数
長岡	北越戊辰戦争伝承館		291	4	2,793
	青少年文化センター		2,587	47	60,292
	科学博物館	複合	1,695	39	38,634
	長岡震災アーカイブセンター	複合	691	5	17,323
	美術センター	複合	540	29	23,390
	河井継之助記念館		442	36	13,748
	長岡戦災資料館		352	32	18,686
	山本元帥生家		101	45	-
	郷土史料館		1,022	49	11,133
	藤橋歴史の広場		436	26	14,549
中之島	馬高縄文館		1,171	7	6,620
	大竹邸記念館		295	37	722
越路	入澤記念庭園		74	23	-
	長谷川邸		1,273	300	3,878
三島	越路郷土資料館	複合	700	31	236
	三島郷土資料館	複合	497	23	438
山古志	やまこし復興交流館おらたる(旧山古志会館)	複合	1,008	32	14,935
小国	小国民俗資料館		1,538	40	658
	紙の美術博物館		1,185	21	1,563
	小国芸術村会館		246	98	1,411
和島	道の駅良寛の里わしま(美術館ゾーン)		2,272	26	7,565
	住雲園		157	100年以上	1,520
寺泊	寺泊水族博物館		1,976	33	114,927
	寺泊民俗資料館		1,147	36	105
	トキと自然の学習館	複合	278	38	3,614
	聚感園		9	12	-
栃尾	栃尾美術館		1,437	21	12,090
	農林業資料館		288	35	休館中
与板	与板歴史民俗資料館		623	31	4,364
	楽山苑		214	68	-
川口	川口歴史民俗資料館	複合	531	38	334
	川口きずな館		180	27	14,312

## (2) 今後の方向性

原則として、今後も機能を維持します。一部の施設については、廃止を検討します。

本計画期間中の建築後経過年数は、次の表のとおりです。築 50 年目を目途に構造躯体の健全性評価を行い、建物性能が低いと評された場合は建替・複合化を検討します。

計画期間中に建築後 80 年を超える施設 (現在建築後 50 年以上の施設)	【博物館等】 小国芸術村会館、住雲園 【博物館倉庫】 中山文化財倉庫
計画期間中に建築後 50 年を超える施設 (現在建築後 20 年以上の施設)	【博物館等】 <u>青少年文化センター</u> 、科学博物館、美術センター、河井 継之助記念館、長岡戦災資料館、山本元帥生家、郷 土史料館、越路郷土資料館、三島郷土資料館、やまこ し復興交流館おらたる（旧山古志会館）、小国民俗資 料館、紙の美術博物館、道の駅良寛の里わしま（美術 館ゾーン）、寺泊水族博物館、寺泊民俗資料館、トキと 自然の学習館、栃尾美術館、農林業資料館、与板歴 史民俗資料館、川口歴史民俗資料館、川口きずな館 【博物館倉庫】 山古志公民館虫亀分館、金山収蔵庫、竹森収蔵庫

※ 文化財である長谷川邸、楽山苑、藤橋歴史の広場、入澤記念庭園、大竹邸記念館は除く。

### ○ 対策及び優先順位

青少年文化センターは、昭和 44 年に建築され築 48 年を経過して老朽化の進行が顕著であり、また、平成 28 年度に実施した建物診断の結果、構造躯体以外においても劣化が見られるため、総合的に判断した結果、建物は廃止し、一部の機能は他の公共施設の特性に合わせて実施する方向で検討を進める。

## 4 検討

総合管理計画における公共建築物のマネジメント方針に基づき、施設の量の適正化・適正配置について検討した。

### 長岡市公共施設等総合管理計画 3. 公共建築物のマネジメント方針 (P43)

#### 3-1-2 施設の量の適正化と適正配置を検討する際の考え方

施設の「機能」(ソフト)と「建物」(ハード)を分けて、施設の量の適正化と適正配置を検討します。

まず、今ある施設の「機能」を維持すべきか否かを検討します。そして、維持する場合には、現在の建物に置き続けるか、別の建物に移すかを検討します。また、機能を廃止する場合には、建物の有効活用を検討します。

#### 機能の検討

**【考え方1】 人口減少・少子高齢化に伴うニーズの変化に対応し、施設に求められる機能を見直します**  
ニーズが低下する施設機能の廃止と、新たにニーズが高まる施設機能の導入を検討します。

**【考え方2】 機能の重複がある場合は、連携して効率化を図ります**

配置すべき地区に、機能が重複する施設がある場合は、集約化を検討します。

**【考え方3】 地域コミュニティを維持するために、必要な機能は維持します**

施設の特性(利用圏域など)を踏まえ、必要な機能を配置すべき地区を定めます。

**【考え方4】 民間サービス活用の可能性を検討します**

民間の施設や国・県の施設と機能が重複する場合は、連携して集約化の可能性を検討します。

#### 建物の検討

**【考え方5】 機能の集約化により、維持更新費の縮減と利便性の向上を目指します**

拠点となりうる施設に多様な機能を集約し、複合化することにより、市民の利便性の向上と施設総量の抑制を図ります。

**【考え方6】 まちづくりの拠点となる地区に機能を集積し、コンパクトシティ化を推進します**

コンパクトシティ化を推進するため、「長岡市立地適正化計画」における都市機能誘導区域またはまちなか居住区域に立地している施設の空きスペースに他機能を導入したり、建替時には複合化したりするなどして多機能化を図ります。また、未利用地・未利用施設には周辺に不足している機能を導入するなど有効活用を図ります。

## (1) 互尊文庫

### ア 機能の検討

#### ○人口減少・少子高齢化に伴うニーズ変化への対応

本を読む・借りる・調べるなど図書館の基礎となるサービスだけでなく、子どもや若者から大人まで様々な学びが体験でき、また、誰もが気軽に訪れ、くつろぐことができる居心地の良い空間を提供することで、多様な世代が学び、交流する、時代のニーズに即した新しいスタイルの図書館の検討が必要である。

#### ○機能が重複する施設の連携・効率化

互尊独尊の思想のもと創設された長岡市で最初の公立図書館であり、市の中心部に立地する唯一の図書館である。長い歴史の中で幅広い世代の市民から親しまれており、今後もサービスの質を低下させず、安定したサービスを継続して提供していく必要がある。

#### ○民間サービス活用の検討

図書館の管理・運営に民間サービスを活用することで、カフェの併設や開館時間の延長など多様なサービスを柔軟に提供できる。同時に効率的な運営が図られ、経費の節減も見込まれるため、活用に向けた検討が必要である。

### イ 建物の検討

#### ○機能の集約化による維持更新費の縮減と利便性の向上

本の貸し出し等だけでなく、本と連動した多様な学びの機能を提供することにより、既存施設と機能を集約して複合化・多機能化を検討するとともに、国の財政的支援等を積極的に活用して、施設の更新に係る費用の縮減に努める。

#### ○拠点地区への機能の集積によるコンパクトシティ化の推進

市が中心市街地で推進する、市街地再開発事業を中心とした都市機能の集積と「まちなか型公共サービス」の展開と一体となって整備することにより、効率的かつ効果的な施設の更新が実現できるとともに、まちなかの活力と賑わいの創出に寄与するものである。

## (2) 青少年文化センター

### ア 機能の検討

#### ○人口減少・少子高齢化に伴うニーズ変化への対応

青少年文化センターは、昭和44年に事業を開始し、青少年の健全な育成を目的に、楽しい教室等の余暇活動の場として利用されてきた。しかし、民間事業者による講座の充実やニーズ及び価値観の多様化に伴い、利用者は減少傾向にあり、青少年の健全な心身の育成や余暇活動の場の提供という一定の役割は果たしたと考えられる。

時代のニーズに即した新しいスタイルの「青少年の居場所・学びの場」の検討が必要である。

#### ○機能が重複する施設の連携・効率化

学びに関する事業については、放課後子ども教室、まちなかキャンパス長岡、民間事業者等で行っている同様な講座と連携しながら、中心市街地の立地を生かし、まちなかで青少年に多様な学びを提供する場を確保するよう、検討する。

貸館事業については、中央公民館、まちなかキャンパス長岡、アオーレ長岡、社会福祉センター等、市有施設等で行っているため、廃止する。

### イ 建物の検討

#### ○機能の集約化による維持更新費の縮減と利便性の向上

青少年の多様な学びを時代のニーズに即した形で提供することにより、既存施設と機能を集約して複合化・多機能化を検討する。

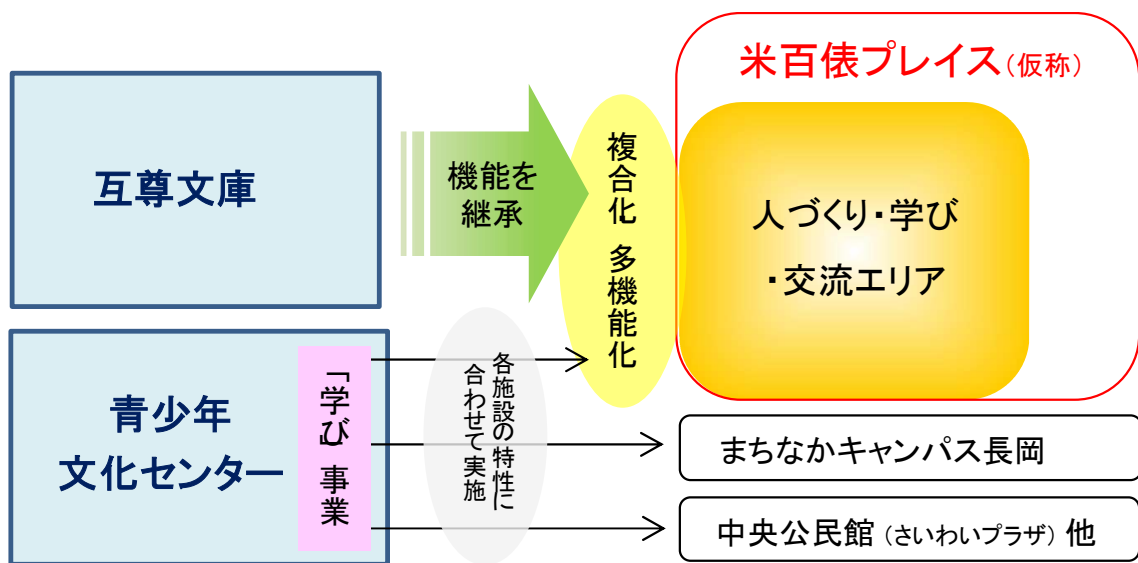
#### ○拠点地区への機能の集積によるコンパクトシティ化の推進

市が中心市街地で推進する、市街地再開発事業を中心とした都市機能の集積と「まちなか型公共サービス」の展開と一体となって整備することにより、効率的かつ効果的な施設の更新が実現できるとともに、まちなかの活力と賑わいの創出に寄与するものである。



5 検討結果及び実施時期、費用

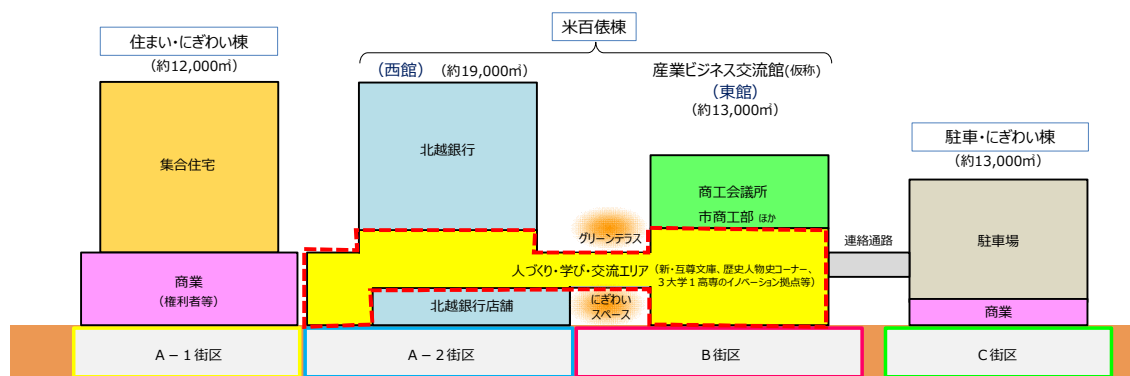
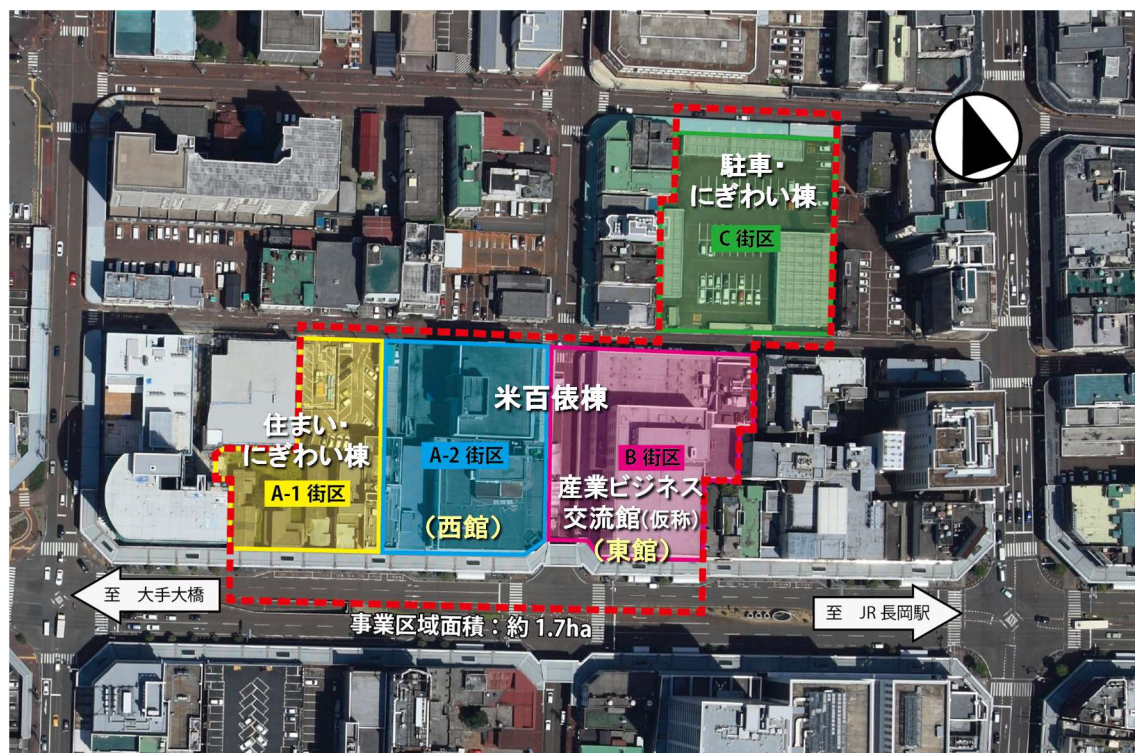
- 大手通坂之上町地区市街地再開発事業（仮称）で整備する「米百俵プレイス（仮称）」において、互尊文庫の機能を継承するとともに、青少年文化センターの「学び」事業を施設の特性に合わせて実施する。
- 現在の互尊文庫は、「米百俵プレイス（仮称）」の完成に合わせて廃止する。
- 現在の青少年文化センターは、平成 30 年度末で廃止し、建物は解体撤去する。



(1) 「米百俵プレイス（仮称）」

人づくり・学び・交流エリアの施設及び機能について（概要）

ア 施設配置（イメージ）



※H30. 2. 19 開催「長岡市議会議員協議会」資料より



# イ 導入機能 (案)

### 新スタイルの図書館 ～未来の人づくりと知の創造～

- **新・互尊文庫 (まちなか図書館)**
  - 「米百俵の精神」発祥の地、国漢学校の跡地、互尊文庫の移転という場所性を活かす
  - 蔵書はさまざまな一般書のほか以下に特色を置く
    - 「米百俵」に関する図書 ●魅力・話題性のある新刊書
    - イノベーションや子どもの将来に役立つインパクト・知的な刺激を与える雑誌
    - 産業人の育成、ビジネス・起業支援の図書
  - コーヒーを飲みながら気軽に誰でも利用できる新しいスタイルの図書館としてにぎわいを創出する
- **学習室**
  - 静音・雑音OKの多様な過ごし方ができる場とする
  - 施設内の機能と併設し若者のにぎわいを創出する
  - Wi-Fiや電源などのサービスを提供し、コワーキングスペースとしての利用も可能とする
- **歴史人物史コーナー**
  - 米百俵を基本テーマに史実を伝え・学べる場とする
  - 長岡でイノベーションに取り組むに値するつながりを出す
  - 総合学習の小・中学生や観光客をメインターゲットとする
  - デジタル技術を活用した体験型・思考型の展示を導入する

### 米百俵棟 (人づくり・学び・交流エリア) 【各機能の基本方針】

① それぞれの存在価値を高める  
② 子どもたちの将来や産業界、まちづくりなどに影響を与える



- **若者ラボ**
  - 若者のにぎわいを生む居場所とする
  - 若者の個性や未来への可能性を伸ばせる場所とする
  - いろいろなくつろぎ方・過ごし方ができる居心地の良い空間とする
  - 若者の夢を支援し、起業家を育成する
  - 若者のふるさと帰りを呼び起こす仕掛けを展開する
- **子どもラボ**
  - 長岡でしか学べない学びを提供し、教育にもイノベーションを起こす
  - 学校の授業では学べない新たな力を養う
  - 施設内の機能相互を「見える化」し、子どもの将来にインスパイアを与える

### 産業人の育成と産業基盤の強化の視点 ～産業連携・協働～

- **3大学1高専のイノベーション拠点 (NaDeC構想の実現 表5ページ)**
  - 3大学1高専の強みをまちづくり・産業界の基盤強化に活かす「長岡版イノベーション」の拠点を整備する
- **産業ビジネス支援機能 (長岡商工会議所、市商工部、産業支援関係機関など)**
  - 産官学金の集積機能を活かし、頑張っている企業や働く人を総合的に支援する産業振興の拠点・産業ビジネス交流組(仮称)を整備する
    - 若者の就業や起業・創業
    - 地場産業を担う人材の育成
    - 産業の創出や企業経営等の支援
  - 企業が市民や来館者と交流できる場を提供する

#### にぎわい創出 ～活発な交流が生まれる付加機能～

- **カフェ**
- **グリーンテラス**
- **屋内広場**
  - 誰もが気軽に集い、語り合えることができる緑の憩いの空間・交流スペースを設置する

### 特徴・コンテンツ

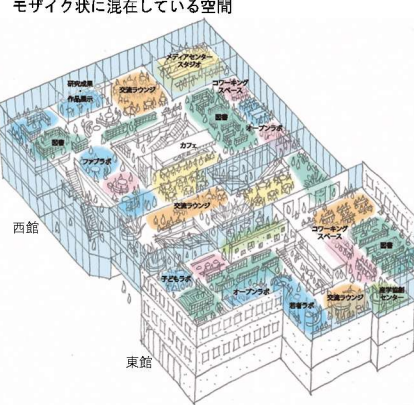
- **新・互尊文庫 (まちなか図書館)**
  - 蔵書はさまざまな一般書と、基本方針(※3ページ)に沿った特色資料で構成
    - ・にぎわい性(さまざまな一般書)
    - ・場所性(米百俵・互尊専庫)
    - ・魅力・話題性(こだわり(雑誌・新刊書・ビジネス書))
  - いろいろな過ごし方を許容する空間
    - ・充実した閲覧・学習スペース
    - ・くつろぎ・癒やし空間
    - ・待ち合わせ場所
    - ・イベントスペース
    - ・電子書籍
    - ・地域情報の収集・表現・発信
    - ・カフェレストラン
- **学習室**
  - 静音・雑音OKの各学習スペース
  - フリースペース
  - カフェ、コンビニ併設
  - 多様なスタイルの空間、机・いす
  - 提供サービス(電源、Wi-Fi、ロッカーなど)
- **子どもラボ**
  - 未来を生き抜く力がつく学び
  - 自己肯定感・自分らしさ・個性を養う学び
  - 実施プログラムは以下を中心に、本物の体験をタテマにかつニーズを捉えて提供
    - ・プログラミング・ロボコン
    - ・語学力、国際感覚・人の養成
    - ・産業・企業への関心誘導・キャリア教育(しごと体験、3大学1高専コラボ、産業ビジネス機能の「見える化」など)
- **歴史人物史コーナー**
  - 「米百俵の精神」をテーマに、現代までの長岡の人づくりを伝承
  - 市民が誇りに思う故郷の偉人を選出
  - オール長岡から人選し、米百俵や産業など、つながり・系譜で興味を誘う展示
  - デジタル技術を活用した体験型・思考型の展示を導入
- **若者ラボ**
  - 学習室や図書館と併設の中・高校生のフリースペース
  - 多様なスタイルの空間、椅子、机
  - カフェ、コンビニ併設
  - 本格的な音楽スタジオ、ボールドラミング壁、調理室
  - インキュベーションセンター、コワーキングスペース、(NaDeC構想と共有)
  - ギャラリースペース、発信の場
- **産業ビジネス支援機能 (長岡商工会議所、市商工部、関係機関など)**
  - 産業支援フレストップ窓口(産官学金の機能集積による産業振興・起業・創業のサポート体制)
  - 交流サロン など

### 空間のあり方・配置の特徴

○施設内の各機能は、見える空間において本でつながっている。  
○各機能が存在感を持ち、お互いに作用し合い融合している。

#### 3階配置イメージ

モザイク状に混在している空間



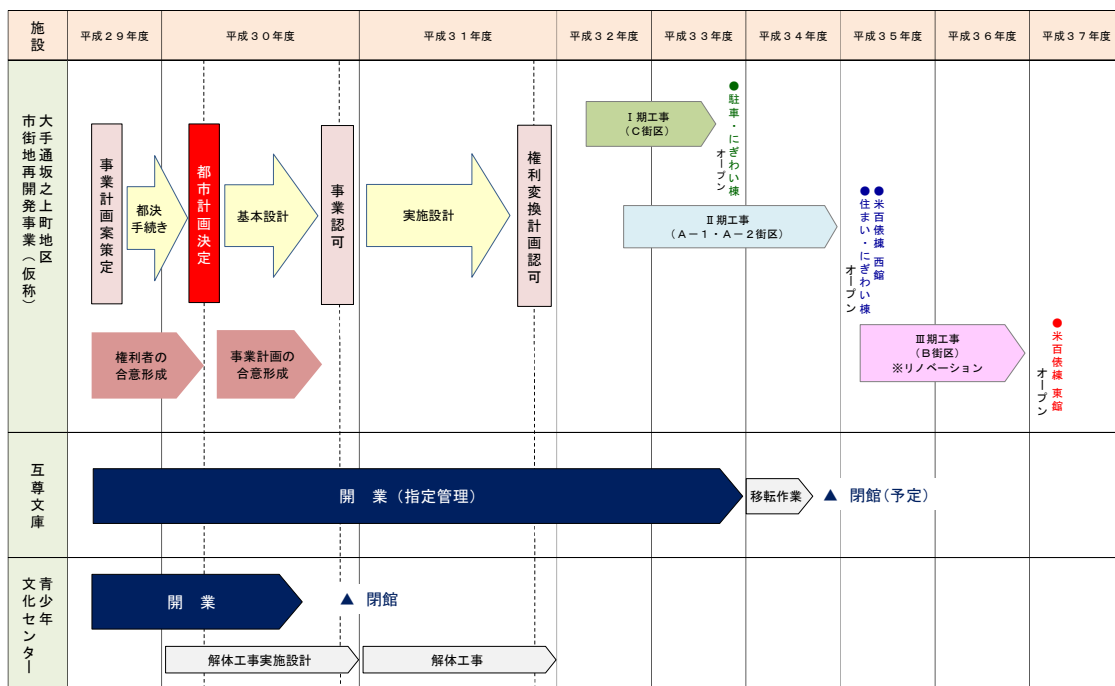
#### 米百俵プレイス(仮称)の市の導入機能の基本方針(前ページ)、特徴・コンテンツ(本ページ)について

- 昨年6月から、市長を中心とした市内有識者による検討会(計5回)や、導入機能に関する実践者・経営者などにヒアリングをしながら、まとめたものである。
- 平成30年度は、この基本的な考え方をもとに、市民の意見を聞きながら、市の導入機能の基本計画・基本設計を策定する予定。

※H30. 2. 19 開催「長岡市議会議員協議会」資料より



(2) 整備スケジュール (予定)



(3) 「米百俵プレイス (仮称)」

人づくり・学び・交流エリアの整備費用(概算)

米百俵棟(西館) 〔整備期間〕 H30~H34	米百俵棟(東館) 〔整備期間〕 H35~H36	合計
約3,000百万円	約2,000百万円	約5,000百万円

## 【参考】

他の計画における「まちなか図書館」の位置づけ

### ①長岡市総合計画（平成28年3月策定）

P. 53

#### 施策の柱2-4 生涯にわたるまなびの場の充実

市民の知りたい、教えたい意欲を引き出し、まちなかキャンパス長岡や図書館、博物館など各施設が連携しながら、多彩な「まなびの場」づくりを推進します。

中心市街地においては、「米百俵」の精神と互尊文庫創設の精神を継承する、未来の長岡を支える「志」を育む場を創出します。

高等教育機関や企業などと協働し、学びのステージに応じた講座を開催し、従来の生涯学習、社会教育にとらわれない学びを推進します。また、学びで得た知識や技術を地域に還元できる人材育成を目指します。

文化芸術を市民の身近なものにするため、さまざまな文化芸術に触れる機会の充実に努めるとともに、市民の主体的・創造的な文化活動に対して支援を行います。

2020東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、本市スポーツ競技力を一層高めるため、次世代を担う子どもたちをはじめ世界や全国で活躍するスポーツ選手の育成と強化・体制の充実に努めます。また、遊びを通じたスポーツ体験から本格的なスポーツ活動まで、知識、技術を兼ね備えたスポーツ指導者等の育成を目指します。



知の情報拠点として市民から利用されている中央図書館



ジュニア選手の競技力向上のための実技講習会

①長岡リジュベネーション ～長岡若返り戦略～（平成 27 年 10 月策定）

P. 16

<p><b>基本施策 3-2</b></p>	<p>魅力ある行き届いた教育と環境づくりを進め、教育のまちとしての価値を高めることで、U・Iターンを含め、長岡の教育を受けたい、受けさせたいと思う人を増やします。</p>
<p><b>主な施策</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもサポート体制の充実により、いじめや不登校、特別支援教育などに適切に対応し、落ち着いて学べる教育環境をつくります。</li> <li>● どの子にも分かる授業を実現し、読み書き計算、基礎・基本をしっかりと身に付けさせます。</li> <li>● 経済的理由により就学困難とならないように、教育への経済的負担を軽減するための支援を充実します。</li> <li>● 幼保小中の連携を円滑にした切れ目のない子育て支援と教育を行います。</li> <li>● 校舎の大規模改修や教材の充実など、教育環境の整備を進めます。</li> </ul>
<p><b>基本施策 3-3</b></p>	<p>キラリと光る人材や世界に通用する人材を育て、米百俵のまちを発信することで、長岡を応援する人を増やします。</p>
<p><b>主な施策</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界や全国で活躍できるスポーツ選手等を育成します。</li> <li>● 小学生段階から英語教育や国際理解教育を充実し、世界で活躍できる国際人を育みます。</li> <li>● 熱中、感動、本物体験の場の提供を充実し、子どもの個性や能力を伸ばします。</li> <li>● 教育による人づくりの大切さを表わす、「米百俵の精神」の普及・啓発を進めます。</li> <li>● 「米百俵の精神」を全国に発信する情報拠点（図書館等）を中心市街地に整備し、その普及・啓発を図ります。</li> </ul>

### ③長岡市立地適正化計画（平成 29 年 3 月策定）

P. 87～89

#### 2) 都市機能を誘導するための施策

##### ■都市機能誘導の方針（再掲）

- 都心地区では、既存ストックを活用しつつ、中越地域全体の活力とにぎわいを創出する広域かつ高度な都市機能の維持・誘導を図ります。
- 地域拠点では、各地域の中心として地域を支える都市機能の維持・誘導を図ります。
- このほか、都心地区・地域拠点では、日常生活に必要な基礎的な都市機能の維持・誘導を図ります。
- ※ 官民連携により、これらの都市機能の維持・誘導を実現します。

上記の都市機能誘導の方針に基づき、①民間事業者による誘導施設の立地を支援するための施策、②長岡市による誘導施設（市有施設）の整備、維持のための施策、③にぎわいの創出や起業・創業のための施策を検討、展開していきます。

##### ■都市機能の維持・誘導に向けて検討、展開する施策

###### ①民間事業者による誘導施設の立地を支援するための施策

- ・容積率の緩和  
「特定用途誘導地区を活用した容積率の緩和による誘導施設立地に対する支援」 など
- ・長岡市が保有する土地・建物の有効活用  
「現在又は公共施設の再編等により生じる、低未利用な土地・建物を活用した誘導施設立地に対する支援」 など
- ・市街地再開発事業  
「市街地再開発事業による誘導施設立地に対する支援」 など
- ・民間建物更新等  
「民間が行う任意の建物共同化による誘導施設立地に対する支援」 など

###### ②長岡市による誘導施設（市有施設）の整備、維持のための施策

- ・誘導施設の整備、機能更新等  
「米百俵らいぶらりー（仮称）等の整備」、「既存誘導施設の機能更新・向上」 など
- ・誘導施設利用環境の整備、向上  
「屋内広場整備」、「案内サインや歩道などの整備、駐車場や情報提供の強化等」 など

###### ③にぎわいの創出や起業・創業のための施策

- ・アーケードや街路灯の整備  
「商店街機能の維持や強化、魅力向上につながるアーケードや街路灯などの商業環境施設整備に対する支援」 など



・誘客、販売促進

「消費者に支持される商店街を目指した誘客・販売促進イベントや環境整備等に対する支援」 など

・起業、創業

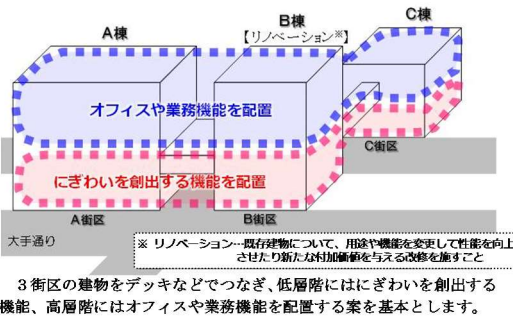
「長岡で根を張り、新たなビジネス需要を創出し、将来の雇用の増加や事業成長が見込める起業、創業に対する支援」 など

長岡市では、これまでシティホールプラザ「アオーレ長岡」やまちなかキャンパス長岡、子育ての駅ちびっこ広場等の都市機能を集積し、あわせて各種施策を積極的に展開することで、中心市街地（都心地区）に活力とにぎわいを創出するまちづくりに取り組んできました。

今後も、中心市街地（都心地区）への都市機能の維持・誘導を図るため、長岡市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）を踏まえ、大手通表町東地区市街地再開発事業（仮称）の実施を検討します。



≪概況図≫



◀施設の基本コンセプトと検討する導入機能▶

同地区における導入機能については、以下の「施設の基本コンセプト」及び「検討する導入機能」に基づき検討を進めていきます。

【施設の基本コンセプト】

〔政策目的及びコンセプト〕

～100年先の長岡のために 長岡開府400年記念事業～

人づくり・産業振興を総がかりで支える地方創生の拠点『米百俵プレイス（仮称）』を整備

【検討する導入機能】

◆にぎわいを創出する機能（低層階に配置）

○人と人、人とまちとを本でつなぐ

「未来の人づくりと知の発信拠点 米百俵らいぶらりー（仮称）」

- ・米百俵の精神と互尊独尊の思想を次世代へ継承
- ・多世代の活発な交流からにぎわいが生まれるまちなかのたまり場（カフェ・交流スペース）
- ・多様なニーズに対応し、市民の自発的な学びを支援する学習室
- ・オール長岡の歴史・人物・産業を紹介する展示スペース
- ・人材・産業育成関連の専門書籍と郷土資料の充実

○産学官金連携のプラットフォームとなる

ワンストップ型産業支援総合窓口（長岡産業ビジネス交流館（仮称）の機能）

○民間のアイデアと資金力を積極的に活用した

物販・飲食等の商業・業務機能や健康・医療関連機能

○誰もが気軽に集い、憩うことができる屋内広場

○施設利用者のための駐輪場

◆オフィス・業務機能（高層階に配置）

○商工会議所、産業支援機関、地元の大学・高専等と市が連携し、起業・創業、地場産業の企業経営等を総合的に支援する産業振興の拠点「長岡産業ビジネス交流館（仮称）」（総合窓口は低層階に配置）

- ・未来の長岡を担う若者と事業者が気軽に交流できる人材育成・産業交流サロン
- ・企業経営のサポート・コンサルティング
- ・地元の教育機関と企業等が連携し技術開発を支援する  
長岡版イノベーションの情報・交流拠点
- ・起業・創業やU・Iターンを支援する窓口など

○商工会議所との連携を図る市商工部などの行政機能

○表町東地区の施設利用者などの利便性向上を図るまちなか駐車場

※ 具体的な内容については、今後、関係機関等と十分な検討を進めていきます。

出典：「長岡市議会まちづくり・新エネルギー対策特別委員会資料（H29.2）」（抜

なお、誘導施設の整備にあわせ、誘導施設への案内サインや誘導施設周辺の歩道整備、駐車場や情報提供の強化など、誘導施設の利用環境の向上を図り、中心市街地（都心地区）のさらなるにぎわい創出を目指すことを検討していきます。

